

<b>特集 太宰治と旅する津軽</b> .....	P1~2
しごと安心・改革継続予算による県政の推進 .....	P3
みんなの力で犯罪のない安全・安心なまちづくり .....	P4~5
創業支援、里親制度 .....	P6
イベント情報、申吾のほっとコラム .....	P7
インフォメーション .....	P8

## 特集

**太宰を生んだ津軽の魅力を発信する  
かなぎ元気倶楽部の皆さんにお伺いしました。**



誇れる郷土は、私たちの手で守りたいと  
地域の住民が自ら立ち上がりました。

市町村合併で、私たちの旧金木町が大きい市に吸収されたことで、弱小コンプレックスを感じました。そこで、地域の絆や伝統文化、産業など、誇れる郷土は、自分たちの手で守らなければならないという強い意識が芽生え、生まれ育った町に、地域振興に関わる母体をひとつ大きく作ろう、また、地域住民の自立意識を高めるためにも、商工会の若手が先頭に立ち、平成17年11月からNPO法人「かなぎ元気倶楽部」の活動を始めました。

**住民参加型の活動を行うことで、街が、人が、ますます元気になってきました。**

私たちの活動は、主に、太宰治記念館「斜陽館」や津軽三味線会館の運営。また、太宰の小説「津軽」に登場する津軽鉄道青野公園旧駅舎を喫茶店として復活させ、太宰ゆかりの「コーヒー」を飲みながら、当時をほつつとさせる空間として、また、地域住民が集い文化活動を行う拠点として活用しています。

**太宰生誕百年を機に、金木を丸ごと  
楽しめる「太宰ミュージアム」による  
新しいまちづくり**

金木は、古くからヒバの産地として栄え、「金木町」という名前の由来もヒバという高級な木がある町というところから名付けられたということです。この地は、豊かな穀倉地帯であり、また文化の香り高い町でもあります。

太宰は愛に飢えていたイメージがありますが、ここ故郷で過ごした時代は、実はとても愛されていたように思います。今でも、太宰に魅了された若い人たちがたくさん金木を訪れます。そんな太宰の生誕百年を機に、金木の魅力を全てまとめて「太宰ミュージアム」として地域ブランド化し、国内外に発信していく取り組みを新しくスタートします。

この取り組みが、東北新幹線全線開業による大きなビジネスチャンスとなることを願いつつ、「かなぎ丸」とい感じ」をキャッチフレーズに、住民みんなで盛り上げていきたいですね。

# 太宰治と旅する津軽

～太宰治生誕百年記念～